

# 第14回 稲門建築会特別功労賞

## 東 秀紀 (苗S48) 首都大学大学院 都市環境科学研究科 教授

表彰理由：

東秀紀氏は、建築・都市を近代文学の形成過程との交渉の中で描き出す著作を発表して高い評価を受けている。処女作「漱石の倫敦、ハウードのロンドン」から「鹿鳴館の肖像」「ヒトラーの建築家」「東京駅の建築家 辰野金吾伝」等を経て、近著「東京の都市計画家 高山英華」まで、いずれも丹念な取材・考証と緻密な思索に支えられながら、時代や人物をシャープに描き出して、広い読者を獲得している。著作の多くは、ある時代の背景の中で立ち上がってきた建築や都市が、更に新しい文化や物語を生み出して記憶されていく様が描き出されているのであり、建築に直接関わる者に対しては、ストックの時代に向けて考えるべき建築の価値は何かを考える道標(みちしるべ)に満ちている。清泉女学院大学、次いで首都大学東京で教鞭を執りながら、広い読者に向けて、建築・都市と人間・市井をつなぐ優秀な著作を精力的に発表され、「建築のこれから」に対しても貴重な示唆を提示されていることは、稲門建築会会員の一規範と評価できるものであり、この功績に対して、稲門建築会特別功労賞に推薦致します。(推薦者 長谷見雄二)

### 略歴

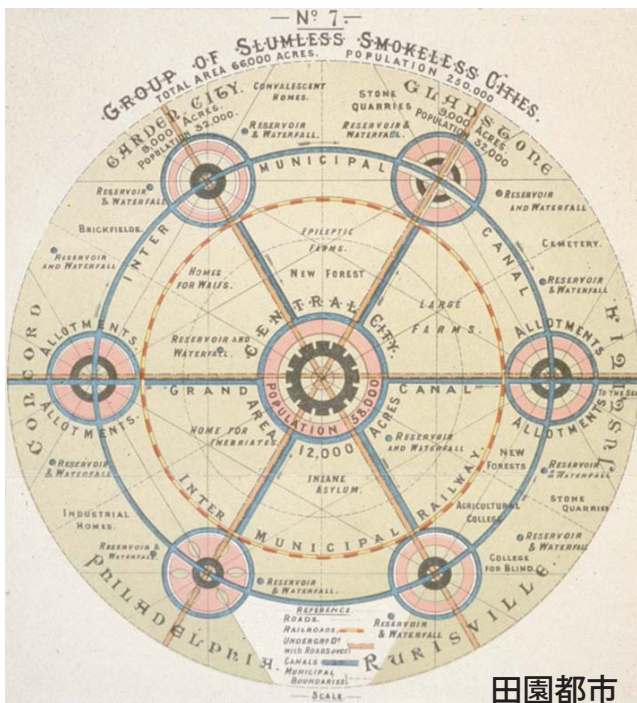
1973 早稲田大学理工学部建築学科卒業NKK(日本鋼管株、現JFE)に入社  
 1980 会社の海外派遣留学生として英国に留学  
 1982 ロンドン大学大学院建築学部都市計画コース博士課程前期修了以後NKK都市総合研究所長として東京湾臨海部再開発構想などに携わる  
 2004-09 清泉女学院大学 人間学部教授  
 2009- 首都大学東京大学院 都市環境科学研究科観光科学域 教授

### 受賞歴

1995 第19回歴史文学賞(『鹿鳴館の肖像』)  
 2001 日本建築学会文化賞  
 2004 IBSフェローシップ(『「サッチャリズムの都市計画」の特徴と成果、問題点の考察』)

### 資格

英国王立都市計画家協会 正会員



田園都市



扇島



「駒沢公園を高山の最高の都市計画だった」と語る東秀紀さん(現・首都大学東京)と、平野幸久撮影

「駒沢公園を高山の最高の都市計画だった」と語る東秀紀さん(現・首都大学東京)と、平野幸久撮影

あすま・ひでき 1951年東京生まれ。早稲田大学理工学部建築学科卒。ロンドン留学を経て作家に。08年、首都大学東京教授。著書に「東京駅の建築家 辰野金吾伝」「漱石の倫敦、ハウードのロンドン」ほか。

季節の花が咲きそろう花壇、緑豊かな森があり、強い日差しを逃れてほっとひと息つくことができる。名前の通り、ここは東京オリンピック第2会場として造られた。鋭角な屋根をもつ屋内球技場は、日本の女子バレーボールチームが金メダルを勝ち取った場所として人々の記憶に残っている。建物だけでなく、道路や景観、造園、機能など、まちづくり全体をデザインするのが「都市計画」。高山英華(1910-99年)はその都市づくりの先駆者だった。「筑波学園都市や大阪万博などに携わり、戦後日本の都市計画を引っ張ってきた人ですが、どのプロジェクトよりも情熱を注いだ、いわば会心の作が駒沢公園でした。なぜなら、駒沢こそがオリンピックでサッカーの試合が行われる予定地だったからだと思います」



## サッカーの監督のような人

東京都世田谷区の駒沢オリンピック公園。中央広場を抜けると、大木が茂る遊歩道や

に入学しサッカーと出会う。東大サッカー部の名選手としてならし、ベルリン・オリン

ピック(1936年)の代表にも名前があがっていた。ところが大会直前に盲腸炎を患って出場できなかった。高山は破っている。高山は都市計画家として東京オリンピックに参加したのである。

「同時代の建築家、丹下健三などと比べると、高山の仕事はあまり知られていません。自らも言います。その代わり、めんどろみがよく、多くの人材を育てた。調べてみて思ったのは、高山はサッカーの監督だったのではないかと。岡田(武史)前代表監督も、試合になれば手の出しようがない。高山もチームを選んだらあとは建築家や土木担当、造園家に任せただけでも、

「無秩序な建築を排し、目的にあった都市をつくる、景観について住民と議論の場をもつといった考え方は、いまでも常識ですが、当時は新しかったと思いますね」

高山英華の生涯は、昭和の都市と人間の歴史と重なる。

【佐藤由紀】

### 東秀紀さん 昭和の日本をリードした都市計画家

「東京の都市計画家 高山英華」

東海堂出版会 (3465円)

「東京の都市計画家 高山英華」

東海堂出版会 (3465円)

「同時代の建築家、丹下健三などと比べると、高山の仕事はあまり知られていません。自らも言います。その代わり、めんどろみがよく、多くの人材を育てた。調べてみて思ったのは、高山はサッカーの監督だったのではないかと。岡田(武史)前代表監督も、試合になれば手の出しようがない。高山もチームを選んだらあとは建築家や土木担当、造園家に任せただけでも、

「無秩序な建築を排し、目的にあった都市をつくる、景観について住民と議論の場をもつといった考え方は、いまでも常識ですが、当時は新しかったと思いますね」

高山英華の生涯は、昭和の都市と人間の歴史と重なる。

【佐藤由紀】

